



2026年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年1月29日

上場取引所 東名

上場会社名 大同特殊鋼株式会社

コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 永井 崇 (TEL) 052-963-7501

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		調整後 営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の 所有者に帰属する 四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	430,230	△0.9	31,190	△8.5	29,728	△12.7	33,209	△9.4	23,504	△5.9	21,767	△6.1
2025年3月期第3四半期	433,961	△1.1	34,070	△10.6	34,039	4.1	36,653	△9.7	24,975	△17.5	23,170	△19.4

	四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	円 銭		円 銭	
2025年3月期第3四半期	37,819	28.8	107.67		107.64	
	29,357	△34.5	109.32		109.29	

(注) 調整後営業利益は、営業利益から、特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を調整し算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2026年3月期第3四半期	百万円		百万円		百万円	%
2025年3月期	815,257		489,379		448,346	55.0
	782,974		469,144		429,278	54.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
	—	21.00	—	26.00	47.00
2026年3月期	—	22.00	—	—	—
2026年3月期（予想）				27.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		調整後営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	575,000	0.0	36,000	△8.6	36,900	△16.0	37,500	△12.1	25,500	△9.9
										126.49

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 当社は、2025年7月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、自己株式の取得の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期 3 Q	217, 243, 845株	2025年3月期	217, 243, 845株
2026年3月期 3 Q	17, 390, 211株	2025年3月期	11, 415, 081株
2026年3月期 3 Q	202, 170, 213株	2025年3月期 3 Q	211, 943, 113株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記「業績予想に関する事項は、添付資料P. 3 「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
要約四半期連結損益計算書	6
要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報)	8
(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足説明資料	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

	売上収益	営業利益	調整後 営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する四半期利益
当四半期	430,230	31,190	29,728	33,209	21,767
前年同四半期	433,961	34,070	34,039	36,653	23,170
前年同期差 (増減率)	-3,731 (-0.9%)	-2,879 (-8.5%)	-4,311 (-12.7%)	-3,444 (-9.4%)	-1,403 (-6.1%)

(注) 調整後営業利益は、営業利益から、特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を調整し算出しております。

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、主要需要先である自動車関連の受注減少などにより前年同期比37億31百万円減収の4,302億30百万円となりました。なお、売上収益の詳細はセグメントごとの経営成績をご覧ください。

主要原材料である鉄屑価格は引き続き高い水準で推移しました。ニッケル価格は、軟化基調であるもののおおむね安定して推移しました。原油・LNG市況は、中国などの需要減速影響や中東情勢の緊迫化に伴う供給懸念などの地政学リスクの影響を受けながら推移しました。全般的に原燃料価格は高位であり、徹底したコスト削減および販売価格への反映に継続して取り組み、適正マージン確保に努めています。

この結果、当期において高合金プロセス改革プロジェクトの生産アロケーション変更に伴う一時費用が27億16百万円発生したこともあり、営業利益は、前年同期比28億79百万円減益の311億90百万円、税引前四半期利益は前年同期比34億44百万円減益の332億9百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比14億3百万円減益の217億67百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

	売上収益			営業利益		
	前年同四半期	当四半期	前年同期差 (増減率)	前年同四半期	当四半期	前年同期差
特殊鋼鋼材	160,423	153,022	-7,401 (-4.6%)	11,229	9,207	-2,022
機能材料・ 磁性材料	153,084	147,922	-5,161 (-3.4%)	10,596	10,890	293
自動車部品・ 産業機械部品	83,749	88,974	5,224 (6.2%)	8,779	6,424	-2,355
エンジニアリング	16,273	20,263	3,990 (24.5%)	1,296	1,960	664
流通・サービス	20,430	20,046	-383 (-1.9%)	2,190	2,672	482

特殊鋼鋼材

構造用鋼においては、産業機械関連の需要は前年並みの水準であったものの、自動車関連の販売不振の影響などにより数量は減少しました。また、工具鋼に関しても自動車関連の需要低迷を受け数量は減少しました。この結果、当セグメントは前年同期比で減収減益となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス鋼は、データセンター用のHDD（ハードディスクドライブ）向け需要は上向いてきたものの、産業機械関連の需要回復は引き続き足踏みの状態が続いており、受注に関しては若干前年を下回る水準となりました。高合金では電機電子向けで需要が減少しました。磁石製品は、中国重希土類の輸出規制の強化に伴い、Dy（ジスプロシウム）、Tb（テルビウム）などの重希土類フリーが特徴である当社磁石への需要が上向いており、売上収益は増加しました。チタン製品は、医療関連において一部在庫調整が継続していることなどにより、売上収益は減少しました。この結果、当セグメントの営業利益は前期に中国磁石子会社の清算費用が発生したこともあり、前年同期比で

は増益となりました。

自動車部品・産業機械部品

エンジンバルブ部品は北米などにおける需要増加を受け、売上収益は増加しました。精密鋳造品はターボ関連の需要が増加しました。型鍛造品は自動車およびトラック関連の需要減少などにより、数量は減少しました。自由鍛造品は、船用バルブの需要や重電関連の需要の水準は高位を継続したものの、航空機関連におけるボーイング減産に伴う影響や掘削関連における関税政策など政策動向を見定める動きに伴う在庫調整の影響を受け、売上収益は減少しました。この結果、当セグメントの売上収益は前年同期比で増収となったものの、営業利益は高合金プロセス改革プロジェクトの生産アロケーション変更に伴う一時費用などもあり、減益となりました。

エンジニアリング

鉄鋼用溶解設備およびメンテナンス部品の売上が増加したことなどにより、当セグメントは前年同期比で増収増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末に比べ322億82百万円増加し8,152億57百万円となりました。資産合計の増加の主な内訳は、営業債権及びその他の債権の増加213億67百万円、有形固定資産の増加140億84百万円であります。

資産合計の増加の主な要因は、下記のとおりであります。

- ・ 営業債権及びその他の債権は当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であるため、その翌営業日に営業債権及びその他の債権の決済が行われたことにより増加しております。
- ・ 有形固定資産は、成長分野への戦略設備投資等により増加しております。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配持分を含めた資本は、前期末に比べ202億35百万円増加し4,893億79百万円となりました。資本の増減の主な内訳は、増加要因として利益剰余金の増加169億88百万円、その他の資本の構成要素の増加83億48百万円、減少要因として自己株式の増加65億32百万円であります。

資本の増減の主な要因は、下記のとおりであります。

- ・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益217億67百万円の計上等により利益剰余金は増加しております。
- ・ 保有株式の時価の上昇等によりその他の資本の構成要素が増加しております。
- ・ 自己株式の取得等により自己株式が増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は55.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、米国の通商政策を含む諸政策が、個人消費、企業活動における生産・販売戦略、国際的なサプライチェーンの変化、金利政策や為替変動など、グローバルでの経済活動へ様々な影響を及ぼす可能性があります。これに加えて、ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスクも内包した経営環境となっております。

当社の主要需要先である自動車関連の需要は、日系自動車メーカーの販売低迷を受けて需要が減少しております。また、産業機械関連においても日系メーカーの生産活動水準は低迷しており、回復のペースは鈍化しております。半導体製造装置関連需要においては在庫調整が継続する中で、一部ユーザーで需要増加の動きが見られますが、2026年度上期まで調整が継続するものと考えております。自由鍛造品については、航空機関連の受注は回復しておりますが、掘削関連においては、原油市況の影響なども受けており、調整局面が継続することが予想されます。一方、磁石製品に関しては、中国重希土類の輸出規制の強化に伴い、Dy（ジスプロシウム）、Tb（テルビウム）などの重希土類フリーが特徴である当社磁石への需要が上向いており、引き続き堅調に推移するものと考えております。

コスト面においては、引き続き徹底したコスト削減努力を継続するとともに、労務コストや物価などのコストプッシュに対し適正な価格転嫁を進めることにより適正マージンの確保に努めてまいります。また、ベースとなる鋼材売上数量が低迷するなかで、数量変化に応じた生産体制の検討、設備投資案件の厳選など、生産数量変化に柔軟に対応するとともに、当社にとって競争力の高い成長市場製品拡大に取り組んでまいります。

通期の連結業績につきましては、足元、鉄スクラップ市況が想定を上回る価格で推移しているものの、受注水準が堅調であることや為替水準が円安に推移していること、継続的なコストダウン努力も含めた適正マージンの確保・維持を踏まえ、売上収益5,750億円、営業利益360億円、税引前利益375億円、親会社の所有者に帰属する当期利益255億円へと修正しております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	61,218	56,641
営業債権及びその他の債権	147,433	168,800
契約資産	5,419	6,471
棚卸資産	195,483	193,386
その他の金融資産	939	1,105
その他の流動資産	6,505	8,155
流動資産合計	416,999	434,561
非流動資産		
有形固定資産	234,469	248,553
使用権資産	6,362	6,195
無形資産	6,559	7,680
投資不動産	4,224	4,239
持分法で会計処理されている投資	21,154	21,838
その他の金融資産	54,454	53,191
退職給付に係る資産	34,392	34,719
繰延税金資産	3,227	3,026
その他の非流動資産	1,129	1,251
非流動資産合計	365,975	380,696
資産合計	782,974	815,257

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	67,998	68,928
契約負債	2,619	14,829
社債及び借入金	72,203	69,026
リース負債	1,933	1,805
その他の金融負債	1,716	1,919
未払法人所得税	7,936	1,984
引当金	554	1,242
その他の流動負債	27,296	24,336
流動負債合計	182,259	184,072
非流動負債		
社債及び借入金	98,633	104,353
リース負債	4,077	4,098
その他の金融負債	747	801
退職給付に係る負債	12,103	12,448
引当金	3,411	4,417
繰延税金負債	11,355	14,449
その他の非流動負債	1,242	1,235
非流動負債合計	131,571	141,805
負債合計	313,830	325,877
資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	31,438	31,702
利益剰余金	332,888	349,876
自己株式	△12,078	△18,610
その他の資本の構成要素	39,857	48,205
親会社の所有者に帰属する持分合計	429,278	448,346
非支配持分	39,865	41,033
資本合計	469,144	489,379
負債及び資本合計	782,974	815,257

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上収益	433,961	430,230
売上原価	352,064	352,089
売上総利益	81,897	78,140
販売費及び一般管理費	45,232	47,408
その他の収益	—	757
その他の費用	2,594	298
営業利益	34,070	31,190
金融収益	2,958	2,281
金融費用	745	750
持分法による投資利益	370	487
税引前四半期利益	36,653	33,209
法人所得税費用	11,678	9,704
四半期利益	24,975	23,504
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	23,170	21,767
非支配持分	1,805	1,737
四半期利益	24,975	23,504
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	109.32	107.67
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	109.29	107.64

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期利益	24,975	23,504
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	868	8,922
確定給付制度の再測定	635	233
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△22	272
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,482	9,427
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	2,870	4,876
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△2	△7
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	31	18
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	2,899	4,887
税引後その他の包括利益	4,382	14,314
四半期包括利益	29,357	37,819
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	26,996	35,113
非支配持分	2,361	2,706
四半期包括利益	29,357	37,819

(3) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントによる収益および業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	160,423	153,084	83,749	16,273	20,430	433,961	—	433,961
セグメント間の売上収益	53,815	14,532	25,259	470	14,529	108,607	△108,607	—
合計	214,239	167,616	109,009	16,744	34,959	542,569	△108,607	433,961
セグメント利益	11,229	10,596	8,779	1,296	2,190	34,091	△21	34,070

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注) 1	連結 (注) 2
売上収益								
外部顧客への売上収益	153,022	147,922	88,974	20,263	20,046	430,230	—	430,230
セグメント間の売上収益	50,358	12,308	23,231	684	16,048	102,630	△102,630	—
合計	203,380	160,231	112,206	20,948	36,094	532,860	△102,630	430,230
セグメント利益	9,207	10,890	6,424	1,960	2,672	31,154	36	31,190

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 営業利益と税引前四半期利益の関係は、要約四半期連結損益計算書に記載のとおりであります。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月28日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において自己株式6,041,100株の取得を行い、これにより自己株式は66億2百万円増加しております。

2026中期経営計画の方針に基づき、資本効率の向上と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を可能とするため、および株主還元の拡充を図ることを目的とし、自己株式の取得を行いました。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費及び償却費	22,485	23,051

3. 補足説明資料

(1) 連結損益計算書

	実績			(単位：百万円、%)	
	前年同四半期 24/4-12	当四半期 25/4-12	前年同期差 (増減率)	通期 25/4-26/3	前期差 (増減率)
売上収益	433,961	430,230	-3,731 (-0.9%)	575,000	54 (0.0%)
営業利益	34,070	31,190	-2,879 (-8.5%)	36,000	-3,408 (-8.6%)
調整後営業利益 ※	34,039	29,728	-4,311 (-12.7%)	36,900	-7,053 (-16.0%)
税引前利益	36,653	33,209	-3,444 (-9.4%)	37,500	-5,153 (-12.1%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	23,170	21,767	-1,403 (-6.1%)	25,500	-2,814 (-9.9%)
鋼材売上数量 (単体)	782千t	771千t	-11千t	1,022千t	7千t

※営業利益から特別損益に該当する項目、為替差損益、在庫評価損益、環境費用引当、固定資産税（平準化）、有給休暇引当を調整

(2) セグメント別売上収益・調整後営業利益

	実績				26/3通期予想			
	売上収益		調整後営業利益		売上収益		調整後営業利益	
	当四半期 25/4-12	前年同期差	当四半期 25/4-12	前年同期差	通期 25/4-26/3	前期差	通期 25/4-26/3	前期差
特殊鋼鋼材	153,022	-7,401	9,008	-1,751	204,000	-6,162	10,100	-3,005
機能材料・ 磁性材料	147,922	-5,161	9,715	-1,990	197,000	-3,863	12,400	-1,361
自動車部品・ 産業機械部品	88,974	5,224	6,622	-1,649	119,000	5,968	8,500	-3,377
エンジニア リング	20,263	3,990	1,880	642	28,000	3,932	3,000	657
流通・ サービス	20,046	-383	2,466	380	27,000	179	2,900	17
消去	-	-	36	57	-	-	-	17
計	430,230	-3,731	29,728	-4,311	575,000	54	36,900	-7,053

(3) 調整後営業利益増減要因

当四半期の調整後営業利益増減要因（前年同期対比）

増益要因		金額	減益要因	金額
1. 原燃料等市況		100	1. 販売価格下落	58
			2. 固定費増加	40
			3. 内容構成差他	27
			4. 販売数量減少	16
			5. 変動費悪化	2
計(a)		100	計(b)	
			差引(a)-(b)	
			-43	

(参考) 原料・為替市況

	前四半期 24/4-12	当四半期 25/4-12	前期 24/4-25/3	通期予想 25/4-26/3
H 2 建値 (千円／t)	39.7	34.9	38.2	35.2
ニッケル (LME) (\$／1 b)	7.7	6.8	7.5	6.8
為替レート (TTM) (円／\$)	152.6	148.7	152.6	149.1

(4) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前期 25/3末	当四半期 25/12末	前期差		前期 25/3末	当四半期 25/12末	前期差
流動資産	<u>416,999</u>	<u>434,561</u>	<u>17,561</u>	負債	<u>313,830</u>	<u>325,877</u>	<u>12,047</u>
現預金	61,218	56,641	-4,577	営業債務	67,998	68,928	930
営業債権	147,433	168,800	21,367	有利子負債	176,848	179,284	2,436
棚卸資産	195,483	193,386	-2,097	その他	68,984	77,664	8,680
その他	12,863	15,732	2,868	資本	<u>469,144</u>	<u>489,379</u>	<u>20,235</u>
非流動資産	<u>365,975</u>	<u>380,696</u>	<u>14,721</u>	親会社の所有者 に帰属する持分	429,278	448,346	19,068
有形固定資産	234,469	248,553	14,084	非支配持分	39,865	41,033	1,167
その他	131,505	132,142	637	負債資本合計	782,974	815,257	32,282
資産合計	782,974	815,257	32,282				